＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和８年度　日臨技中部圏支部研修会

「第 39 回臨床生理部門研修会」開催案内

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主　催：(一社)日本臨床衛生検査技師会中部圏支部
実務担当技師会：三重県臨床検査技師会

【テーマ】「生理検査のパニック所見・急変時対応～あなたならどうする？～」

【概　要】生理検査業務や日当直において、「見逃してはならない異常所見」に直面した経験はないでしょうか。
いわゆるパニック値（critical value）は「生命が危ぶまれる危険な状態を示唆する異常値」と定義され、
直ちに治療を開始すれば救命しうる一方、診察のみでは診断が難しく、検査によって初めて判明することも
少なくありません。
本研修会では、心電図・超音波・呼吸機能・神経伝導検査・脳波の各領域における「緊急・準緊急所見」の
拾い上げ、病態生理学的メカニズム、および鑑別のピットフォールについて、経験豊富な講師陣より
解説いただきます。
さらに、他施設での「パニック所見の報告基準や運用体制」に加え、救急医の視点から「検査中の急変の察知と、
医師到着までに技師が実践すべき初期対応」についてもご講演いただきます。
パニック所見の早期認識から、適切な判断・確実な報告・迅速な初期対応まで、現場で役立つ実践力を養う
機会となれば幸いです。
オンデマンド配信のため、関心のある領域を重点的にご自身のペースで学んでいただけます。日常業務や
日当直に自信を持って臨みたい若手技師はもちろん、自施設の報告基準や急変時対応フローを見直したい中堅・
リーダー層の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日　時】　令和 9 年 2 月 1 日（月）9：00～令和 9 年 2 月 21 日（日）23：59
【定　員】　オンデマンド視聴 400 名
【受講料】　2,000 円

【プログラム】
講演１：心電図検査「″その″心電図波形から何を伝える?－パニック値から考える現場対応－」
三重大学医学部附属病院　新家 加奈子 先生
講演２：呼吸機能検査「呼吸機能検査で慌てないために― 異常所見を見極めるポイント ―」
金沢大学附属病院　中出 祐介 先生
講演３：心臓超音波検査「自信を持ってその一報を伝えるために～病態で読み解く心エコーパニック所見～」
静岡県立総合病院　鈴木 駿輔 先生
講演４：血管超音波検査「血管（頸動脈、下肢）エコー検査のパニック所見」
藤田医科大学病院　笹木 優賢 先生

講演５：腹部超音波検査「腹部超音波のパニック値ーパニックにならない・させない・見落とさないー」

静岡県立総合病院　中村 元哉 先生

講演６：神経伝導検査「正しい検査と精確な報告　～テクニカルエラーと重要所見～」

トヨタ記念病院　鍋谷 洋介 先生

講演７:脳波検査「その波形､急いで報告しますか？～脳波におけるパニック値所見の考え方と現場のリアル～」

小牧市民病院　田中 夏奈 先生

講演８：総合「どうやっていますか？生理検査のパニック所見報告」

河北総合病院　髙野 小百合 先生

講演９：特別講演「検査中どのように急変に気付くか、そしてその対応について」

三重大学医学部附属病院　高度救命救急・総合集中治療センター　石倉 健 先生

【生涯教育】専門 30 点

【申込期間】令和 8 年 11 月 1 日（日）～令和 9 年 1 月 31 日（日）

【申込方法】

日臨技ホームページの会員専用ページへログインのうえ、事前参加登録および決済手続きをお進めいただきますようお願いいたします。

※本研修会は会員限定となっております。あらかじめご了承ください。

【受講料のお支払い】

受講料は、事前参加申込時のクレジットカード決済をお願いしております。

クレジットカード決済のご利用が難しい場合は、研修会事務局までご連絡ください。

【受講に関するご案内・注意事項】

・講義内容の取扱いについて

研修会内容の録画・撮影、ならびに無断使用・無断転載等の二次利用は固くお断りいたします。

なお、参加登録の完了をもって、本事項にご同意いただいたものとみなします。

・生涯教育点数（専門 30 点）の付与条件について

点数の付与には、全ての講義の視聴完了ならびに最終画面での「履修完了」登録が必要となります。

一部のみの受講や「履修完了」ボタンの押し忘れがある場合、点数の付与ができかねますのでお気をつけください。

研修会事務局

〒515-8557　三重県松阪市朝日町 1 区 15-6

済生会松阪総合病院　臨床検査課　中川　真理子

Tel：0598-51-2626(内線 261) FAX：0598-51-6557

E-mail：39th-physiological-seminar@matsusaka.saiseikai.or.jp